

令和4年 第841回小浜市教育委員会定例会 会議録

開催日時	令和4年3月18日(金)		開会 15:30 閉会 16:45		
開催場所	市庁舎4階 大会議室				
出席委員	窪田教育長	山崎職務代理者	上田委員	村上委員	桂田委員
欠席委員					
事務局	教育部長	教育部次長 (生涯学習スポーツ課長)	教育総務課長	古跡GL	福田GL
	出口GL	高鳥GL	和久田GL	小坂企画主査	上林指導主事
傍聴者					
会 議				会議の結果	

委員会開会

(教育長) 宣言および開会あいさつ

- ・コロナ禍における今年度の学校教育活動について

1 会議録の承認について

第840回教育委員会定例会会議録《承認》

会議録署名人2名の選任

第841回教育委員会定例会会議録署名委員選任《山崎職務代理者、村上委員》

2 報 告

- ・報告第4号 諸般の報告 令和4年2月18日～令和4年3月17日
行事予定 令和4年3月18日～令和4年4月30日《承認》

3 議 案

- ・議案第5号 小浜市教育振興基本計画の策定について《承認》

上田委員 今回実施したパブリックコメントに意見を提出された方々の年齢層は。

事務局 パブリックコメントの意見を募集する様式は、氏名または名称、住所のみを記載し、意見欄に意見を求めることになっており、今回の意見をいただいた年齢層は把握できない。

上田委員 12月の定例会で説明された教育振興基本計画案で、目標指標として全国学力・学習状況調査の回答の数値が変更になっているものが、その理由は。

事務局 12月の定例会で示した教育振興基本計画案では、「当てはまる」と回答したのみの率を目標指標としているものもあれば、「当てはまる」に加えて「どちらかといえば当てはまる」とする回答も含めた肯定的な回答の率を目標指標としているものもあったため、統一して肯定的な回答の率を採用し、目標指標をわかりやすいものに変更した。

教育長 小浜市教育に関する大綱は、理念および基本方針を示したものであるが、小浜市教育振興基本計画は、そのアクションプランとして、市民や保護者の皆様、子どもたちとの約束事とした具体的な取組み内容を示したものである。目標を達成するよう全力で取り組んでまいりたいと考えている。

上田委員 具体的施策として、市民参加型の文化振興事業を推進するとあるが、新規事業を立案するなど、文化活動が拡大していくように取り組んでいただきたい。

事務局 文化振興事業は、令和4年度当初予算において、1,000千円を増額して文化活

動が活性化できる内容に拡充していく計画である。

村上委員 パブリックコメントの意見の中に、地域の伝統文化の継承者の育成、継承などへの対応策について質問を受けているが、意見への回答として、茶道・華道などの取り組みを示しているが、地域の伝統文化として、各地域で行われている祭りなどの行事については、どのように考えているのか。

事務局 今回の回答では、まず、文化事業として現在取り組んでいるものを挙げた。加えて、地域で行われている祭りなども地域の伝統文化であると考え、公民館を通じた世代間交流に取り組んでいくことで、地域行事への参加につなげていきたいと考えている。

上田委員 具体的施策の中に、教育委員会が作成した学習教材「ブルーリボンに願いをこめて」を有効に活用して、拉致問題理解学習に取り組むとあるが、学習教材「ブルーリボンに願いをこめて」は、若い世代の子どもたちには必要な内容であり、ぜひ進めていただきたいと思う。学習教材ができてからこれまでに、県外からの問い合わせなどはあったのか。

事務局 学習教材「ブルーリボンに願いをこめて」は、平成30年度に教育委員会が主体となって作成したものである。現在、この学習教材を使って、中学3年生を対象に拉致被害者の地村保志さんの講義を行っている。県外からの問い合わせについては、学習教材を作成した当時には、いくつかあったと聞いているが、本市としては、まずは、本市の拉致問題教育を進めていくということで、学習教材を県外の学校に配布するなどして本市の拉致問題教育を広げていくことはしていない。令和4年度で地村夫妻の帰国から20年を迎えるということで、拉致問題の風化が懸念され、特に若年層への教育が必要であると考えており、令和4年度は、人権教育として、拉致問題をテーマとした新規事業に取り組む予定である。併せて、学習教材の有効利用を進めていき、今後も継続して拉致問題教育に取り組んでいきたいと考えている。

・議案第6号 令和4年度小浜市学校教育方針について《承認》

村上委員 現在ふれあいスクールが設置されている中央公民館の取り壊しが決定したと聞いているが、移設先の目途はあるのか。

事務局 中央公民館は、現在、ボランティア支援センターやふれあいスクールが施設内に設置されているが、令和5年4月から、各地区公民館のコミュニティーセンター化に移行することになっている。中央公民館は、これまでから施設の在り方を協議しており、各地区公民館のコミュニティーセンター化に伴って、各地区公民館と同様に中央公民館機能を廃止する方針になっているが、施設内に設置されているボランティア支援センターやふれあいスクールの場所の確保などの課題が解決されていないため、直ちに施設を取り壊すということは決定していない。令和5年4月までには、結論を出したいと考えている。

事務局 ふれあいスクールの移設などについては、ふれあいスクール所長とも協議をしているが、ふれあいスクールの立地や施設の条件などを中心に検討している。現在の中央公民館の機能を廃止した施設をそのまま利用するということになれば、ふれあいスクールとして使用する以外のスペースも含めた施設の維持管理が必要となり、予算的に難しいと考える。中央公民館の機能は廃止されても、ふれあいスクールの機能は継続していくため、令和4年度中に協議を重ね、適切な場所でこれまでどおり使用できるようにしていきたいと考えている。

教育長 ふれあいスクールは、これまで、旧阿納尻小学校、旧今富公民館と移設をしてきた経緯があり、現在は中央公民館内に設置している。中央公民館は、交通の便が良く、通所者が利用しやすい施設である。立地条件は通所者や保護者にとって大事である。様々な課題があるが、不登校児童生徒に対応する施設として、本市が先駆けて取り組んできたふれあいスクールの機能を維持できるよう努力していきたい。

- ・議案第7号 小浜市公民館長および公民館主事の任命について《承認》

4 教育長報告

- ・福井県教育委員会優秀教員表彰について

本市の教員では、小浜中学校 廣澤教諭が受賞した。

- ・文部科学大臣表彰について

本市の教員では、学習指導の部門で、今富小学校 小林教諭が受賞した。

- ・福井県職員の人事異動について

本日発表の人事異動の本市の関係では、嶺南教育事務所長に、現小浜美郷小学校の前田校長が着任することになった。

また、嶺南教育事務所主任に、現今富小学校の小林教諭が着任することになった。

- ・春季休業期間における新型コロナウイルス感染症対策について

福井県の特別警報が、3月22日から4月10日まで延長になり、県内は依然として警戒すべき状況が続いているが、ピークは過ぎたとの見通しがなされている。本市においては、児童生徒における新規感染者数が減少傾向となっており、現在、学級閉鎖を行っている学校はない。このような状況を踏まえ、また、県知事より学校活動の再開の要請が出されたことから、これまで停止していた、子どもに関わる活動を3月22日（火）から再開することとする。県としては、これまでから部活動を自粛するという措置はとっていなかったが、本市では、制限を加えて取り組んできており、他市町と比較すると感染者数が少なくなってきたなど、それなりの効果があったと考えている。その成果を踏まえ、感染対策を徹底した上で、家庭と連携しながら、子どもに関わる活動を再開していきたいと考えている。

再開する活動は、中学校における部活動、小中学生が参加するスポーツ少年団活動や地域社会教育活動、学校施設開放による地域団体活動や個人活動、公共施設の小中学生の利用であ

る。今回の第6波の感染状況では、感染者の多くは、家庭における感染であるといわれており、そのことから、家庭における感染対策について各家庭に呼び掛けることとする。学校における感染対策についても徹底を図ることとし、その上で、部活動等の活動の再開を進めていく。

5 その他

山崎職務代理者 公民館長の任命についてで説明のあった加斗公民館の館長は、地元加斗地区在住の方なのか。

事務局 地元加斗地区在住の方である。

委員会閉会

(教育長) 宣言

この会議録が真正であることを確認して署名する。

小浜市教育委員会議事録署名委員

委員 山崎正博 教育長職務代理者

委員 村上郁子 教育委員